寺崎組新聞

第八十八号

発行所　寺崎組新聞社

はぐれ事林道純情派

オン・アワ（阿波）サンデー

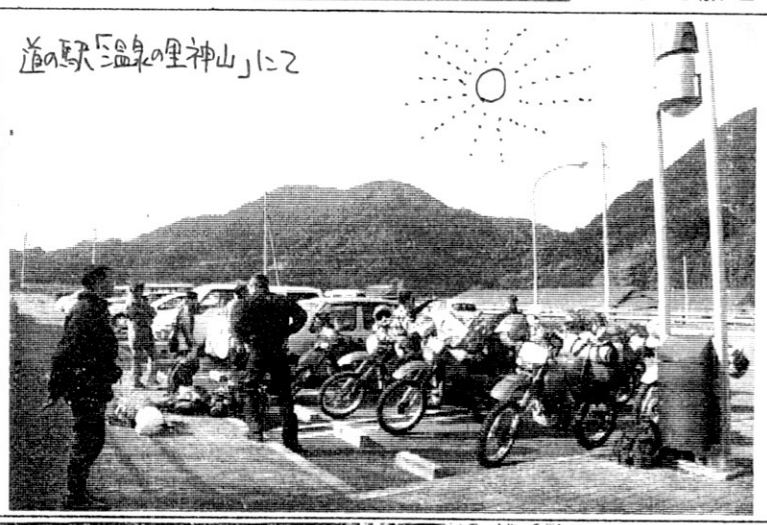
第１１９回組会報告

皆様初めまして。阿波踊りライダーズ１号こと内田です。今後とも宜しくお願い致します。

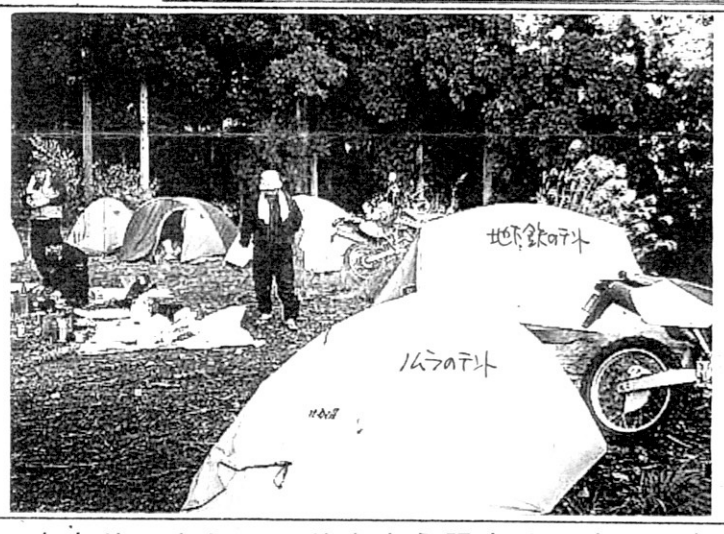
私は昔からバイクが好きで、以前はツーリングや近くの山の探索などをしておりましたが、どれも日帰りばかりのものでした。旅をしてみたいと言う願望はあるものの、仕事の忙しさにかまけて、行動に移すことはありませんでした。バイクでの旅を本気でしたいと思うようになったのは、組長のことを知ってからでした。

たまたまパソコンでバイク関連を何気なく検索していたのですが、その時に組長の本に出会いました。「さすらいの野宿ライダーになる本」でした。当初は何となく気になり購入した感じでしたが、読んでいるうちにどんどん組長の世界に引き込まれる自分がいました。

それからは野宿出来るだけの装備を色々揃え、勢いだけで何度か経験致しました。たった少しの経験だけですが、現実は本を読むのとは違い、思うようにならず大変なことが多々ありました。実際に組長の旅をこの目で見てみたいと思っていた矢先、大阪ＭＣショーで組長とお話させて頂く機会があり、徳島での組会を無理？に（笑）組んで頂き、今回の初参加となりました。



当日はお天気も良く、私ども阿波踊りライダーズ一行は、前日からの興奮を抑えつつ、予定時間の１時間前に待ち合わせ場所へ到着しました。（気合い入り過ぎ・・笑）時間に余裕もあるので、道の駅でワクワクしながら、腹ごしらえにそばを食っておりました。（この時は、翌日、皆さんとはぐれる事になろうとは思いもせず・・・泣）



野宿場所も決まり、いよいよお楽しみの宴会です。こちらも皆さんのお話通り、皆さんの料理が回る回る！さらに皆さんの料理のうまさと手早さには驚きました！！一番びっくりしたのは組長の作ったお好み焼き！え！野宿でお好み！しかもうまい！酒も進み皆さんの色んな話が聞け、組長の歌も飛び出し♪酒もよくまわり楽しい夜は更けていきました。

何と集まってビックリッ！今回の参加人数は、な、なんと１１名！！四国での組会ですので、僕ら４名＋２～３名かなと思っていたのでかなり驚きました！ぞくぞくと皆さん集まる中、地元の私達が一番荷物が多かったような・・・。他の組員の皆さんはすごくコンパクトだったので色々と勉強になりました。

皆さんそれぞれお弁当を食べた後、いよいよ出発！私は組長の後ろを走らせて頂き、緊張の面持ちで走り出しました。まずは近くのスーパーにて買い出しです。組長や組員の皆さんはその間も気を遣って私たちに話しかけて頂けました。そして買い出しをすませ、林道へ突入！組長のスムーズな走りは皆さんのお話通り、凄すぎでした。ついて行くだけで必死でした。

翌日、さすが組長や組員の方々も朝は早いです。焚き火もすでについていました。朝食をすませ素早くパッキングして、いよいよ二日目スタートです。

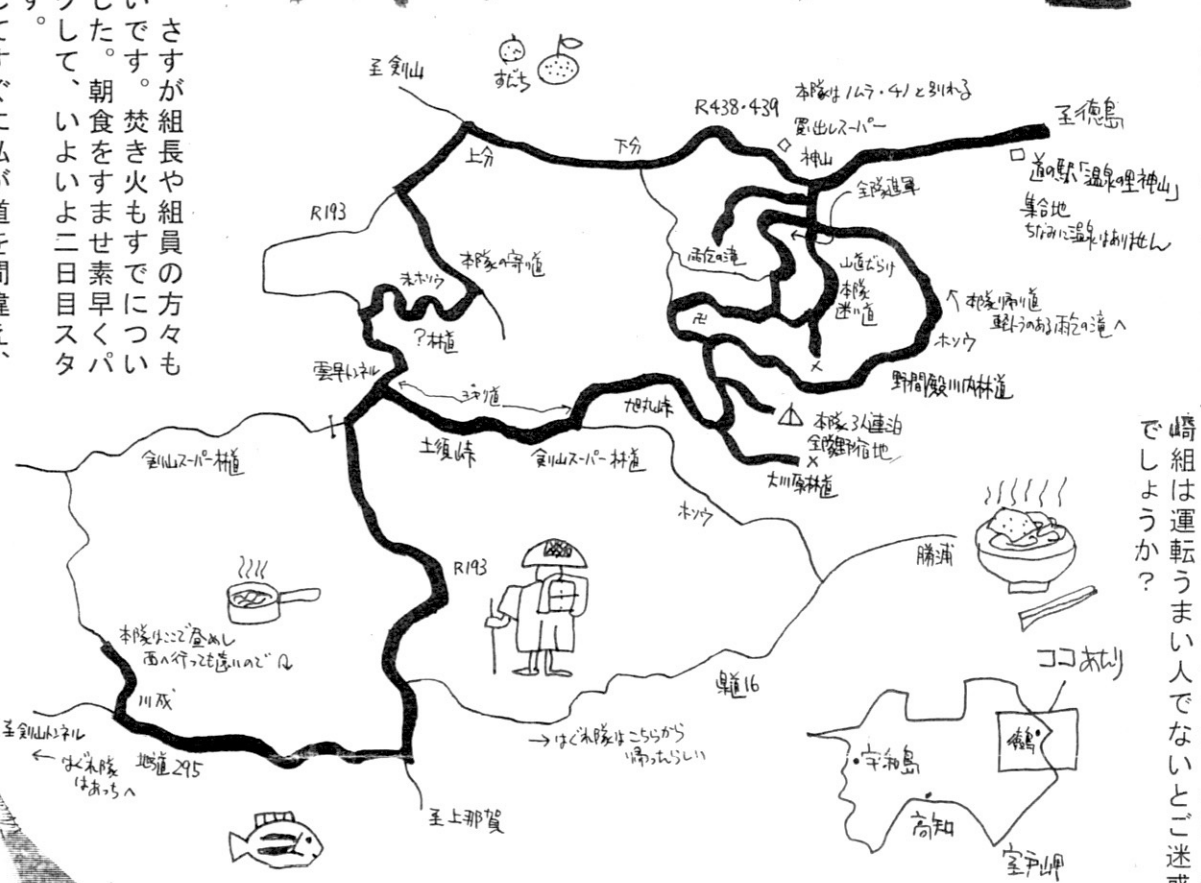
出発してすぐに私が道を間違え、そこから歯車が狂ってしまったもしれません・・・。しばらく張ってついて行ってたのですがうとう途中の分岐ではぐれてしました。探しまわったのですが出来ず、後ろを走って下さってりょうふうさん、阿部さんにはにご迷惑をかけてしまいました・・。皆さんにもご心配をおかけした。また腕を磨いてついていよう頑張ります。

この組会で本当に色々と勉強になりました。この貴重な経験を忘れず自分なりの旅が出来るよう頑張ります！

そう言えば私は組員番号何番でしょう？？（編集者注・どう二三九番の様ですね。）

記　阿波踊りライダーズ１号こと内田

今月の走行コース in 四国



徳島組会一人一言

●皆さんとはぐれてしまったのがショックでした。

私はまだ運転にも慣れていないので早く走れないのですが、やはり寺崎組は運転うまい人でないとご迷惑でしょうか？

阿部さん、りょうふうさん、こんな私たちに最後まで付きあわせてしまいすみません・・・。（阿波踊りライダーズ２号・内田嫁）

●色々と勉強させて頂きました。

皆とはぐれた後、凍った道で転んだのを助けて頂いた阿部さん、ありがとうございました！（阿波踊りライダーズ３号・今川）

●皆さんの装備やスタイルに感動しました！最後まで皆さんとご一緒したかったです（阿波踊りライダース４号・藤井）

●四国への道のりは遠くＥＴＣとガソリンの請求がコワイ。（村松岡）

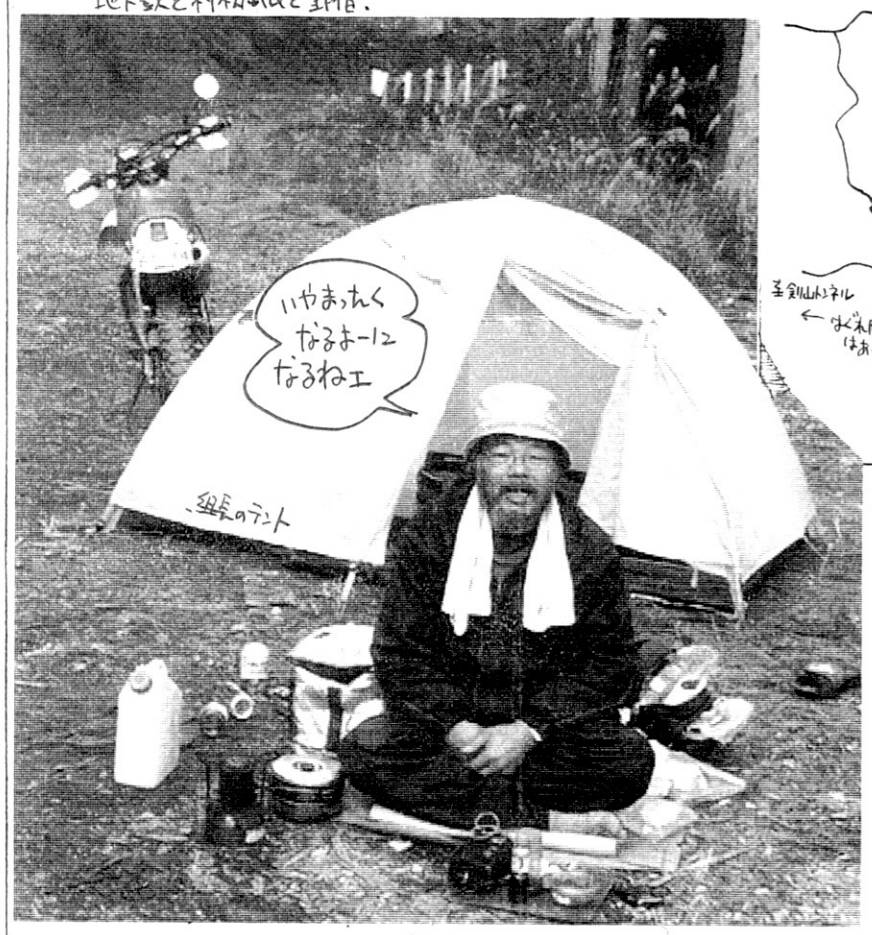
●ブレーキの踏みすぎに注意です。ブレーキディスクがきれいな色になってブレーキききにくくなります。（ノムラ）

●今回も遅刻し、出発を遅らせてしまいました。申し訳ございません。次回は遅れないようにします。（上田のチノ）

●モンベルの軽くて安いバランスライト４０を買うか買うまいか一年ぐらい悩んでたんだけど、四国で組長のザックを見てあれまあ！やっぱり、んで、モンベルのオンラインショップ見たら一つ残ってた赤も完売だぁ！（りょうふう）

●長距離高速延々移動単調単純尻痛走行に打ちのめされた組会でした。（アベ）

●徳島良いとこ、バイクにどんどん道を譲ってくれます。さあ、みんなで徳島の三桁国道を走ろう！（地下鉄）



若葉中年林道走行初体験記

記　二三三号　菰田晴雄

（前号から続く）

「おお、格段に走りやすくなっている！　なるほど、こういうことか」それまで、バイクは駆動輪であるリアにより大きく荷重をかけるべきと思っていただけに、大事なコツを掴んだような気がした。前後のバランスを取り、肘や膝など体の関節を柔軟に動かすことで、バイクを御するのだろう。初心者のくせに、わかったような気になったりして。

番手を最後尾に変えてもらい、あれこれ考え勉強しながら、自分のペースで走る。シートに腰を下ろすか腰を浮かせるかの状況変化もなんとなくわかってきた。最初は時速二〇キロのペースだったが、二五キロくらいまでは出せるようになった。妙に嬉しくて、ちょっと興奮気味。

初日の宿営地は、なんだかだだっ広い場所。雨が降っているので、各自のテントを円形に置き、中央部に雨よけのタープ（ドカシーではない）を張る。この下が宴会場。そして、いつものように宴会が始まる。林道初走行で気分が高揚している私は、早々に酔いが回り、何があったかよく覚えていない。でも、飲みながら頂いたアドバイスだけは覚えている。

二日目も、当然林道を走る。運転することで精一杯の私は、どこへ行くかも知らないまま最後尾につく。先行する寺崎さんを含む五台は、林道の分岐となる場所で待っていてくれることがわかったので、安心して林道走行のノウハウを考えながら自分のペースで走れる。

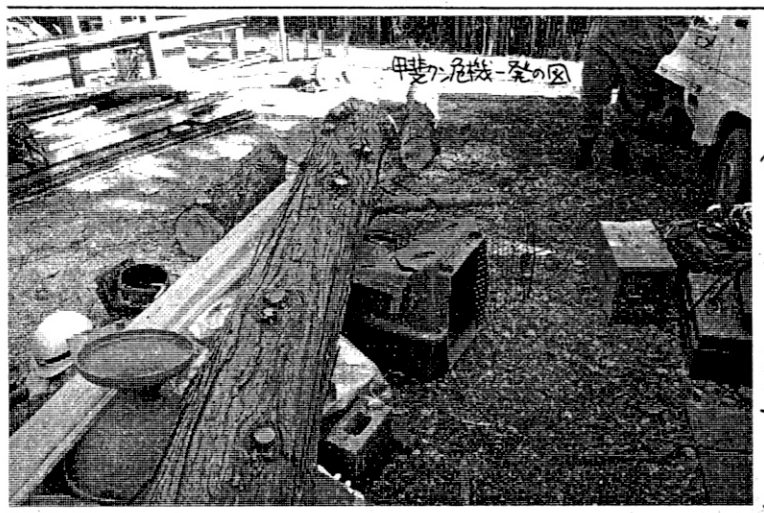
天候が荒れ始めたので、早々に宿営地を定めてから、里に下りて酒と食料の買い出しへ。相変わらず下手っぴな走りだが、宿営地に戻る時には時速四〇キロくらいまでは出せるようになり、初心者なりに少しずつ上達していることを実感出来て、やけに嬉しい。分岐点で待っていた組員から

「待ち時間が短くなってますよ。」

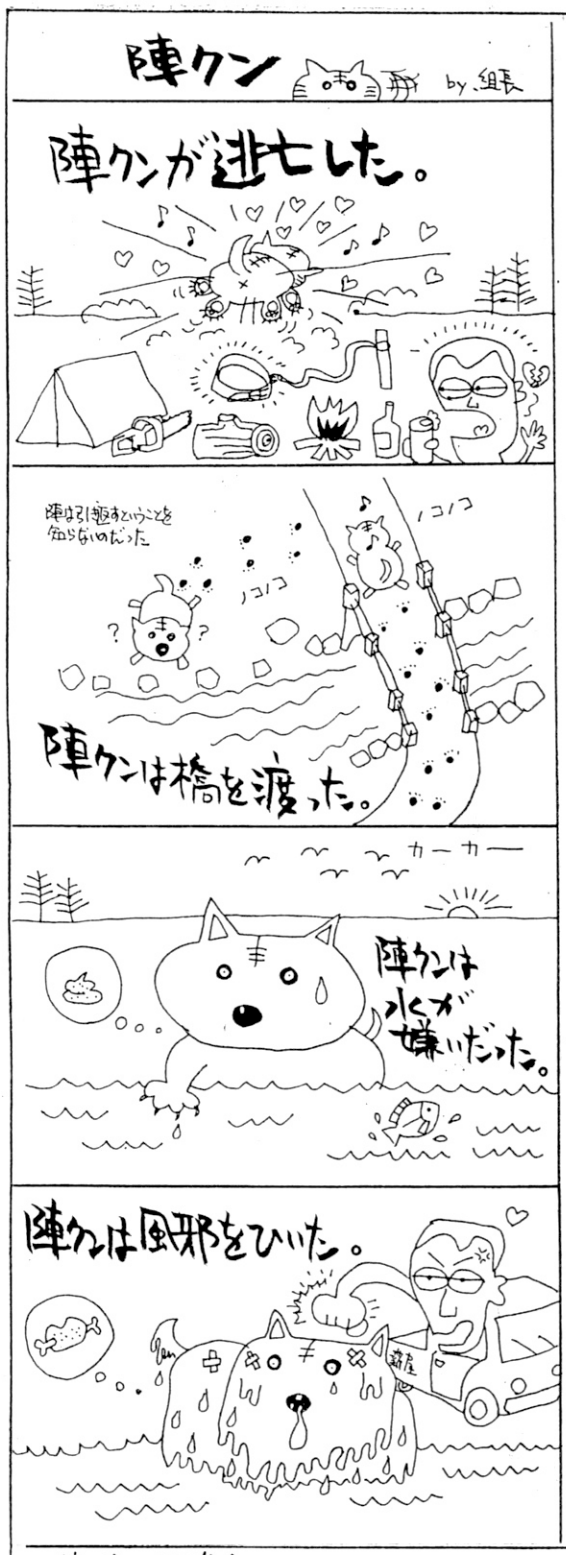
と声をかけられ、さらに嬉しくなる。

翌朝、私は一人宿営地に残り、興奮の余韻と頂いたアドバイスをじっくり反芻してから帰路についた。

少年時代、成績が優秀すぎる（ホントかよ？）ため、塾というものに通ったことがない私にとって、今回が初めての「塾」でもある。上達して行く自分に気づくというのは、これほど楽しいものだったのか。新しい世界が開けたような感動すらある。バイクに乗り始めて、本当に良かったと思う。寺崎さんやその仲間と知り合えて、本当に良かったと思う。



（とある現場での教訓その1）



寺崎組　小武川焚き火宴会に参加して

第１２０回組会報告

寺崎組新聞を見て２００７年１２月の寺崎組宴会に参加してみたいと思った。寺崎さんの著書を何冊か読んで自分なりに野宿旅をしてはいたが、そんな私にとって組会は、何だか少し特別なイベントのような気がした。

１２月２２日の朝、ＣＲＭ２５０に荷物を積み、千葉県市原市の自宅を出発。高速道路に入る頃には雨が降って来た。寒く冷たいが気分はハイだ。首都高・中央道をマイペースで走り韮崎で降りる。すぐ近くのスーパーで酒と食料を買い込み小武川林道を目指す。

入口が少々わかりにくく林道も分岐が多く迷ってしまった。迷いながらも千葉の林道とは違う景色を楽しみ、山の稜線や川の流れを楽しむ。やがて藪の中にテントを発見！　良かった組会に参加出来るぞ！

簡単な挨拶をし、バイクを停めてテントを張る。標高の高い鳳凰三山の麓だ。相当冷え込むだろうと思い、マットや寝袋の用意をした。そして宴会に参加。続々と組員さんが集まって来る。焚火をし、酒を飲み、食事する。ただそれだけなのだがとても楽しい。

第一夜の全員集合

やがて組長が到着！　今まで本でしか見た事が無かったが、そのまんまだ。人の良さそうな面倒見の良さそうな雰囲気を持っている。改めて「千葉県市原市から来た雷神です！」と自己紹介をしたが、組長や組員さんからは「市原さん」とか「龍神さん」と覚えて頂いたようである。

その後、雨が雪へと変わり、素晴らしいロケーションの中で宴会は続いた。とても気持ちの良い酒を飲み、寺崎組組会初参加の夜は更けて行った。

翌朝は爽やかに目が覚めた。心配した冷え込みも無く熟睡出来たようである。インスタントラーメンとコーヒーで朝食を済ませ荷造りをする。非常に残念だが翌日は仕事の為に一泊で帰らなければならない。帰り支度を済ませ出発する私を組員さんが全員で見送ってくれた。

「また会いましょう！気を付けてね市原さん！」

ああ、私はすっかり「市原さん」になってしまった・・・。

初参加の私を暖かく迎えて下さった組長と先輩組員さん、これからも「雷神」を宜しくお願いします。

記　２４３号「雷神」吉崎

編集後記

ゴミ■トナーなくなって発送遅れてすまん　地■ナチュラルツーリングのセXとは私のだ　元■コンクリート基礎のレベルが6センチ違う　モリシタ■特製酒カス味噌おいしかったでしょ　カワラダ■夜中に突然来るのは私じゃないハハハ　組長■基礎はずれるは勝はずれるわ基

今月の新人紹介

第三百三九号　内田治

古い(ボロい)XRで突っ走る運転手社長

第三百四十号　内田智世

小さい七ローで足バタバタで走る社長夫人

第三百四十一号　今川智勇（とおる）

古ーい（でも綺麗）MTX200でケムケム走る社長夫人兄

第三百四十二号　藤井秀和

小さくてダウンマフラーのセローでけなげに走る運転手従業員

第三百四十三号　吉崎憲一

古い中古のCRMに乗る電人いや竜人いや蓮人いや雷人です（雷神）